

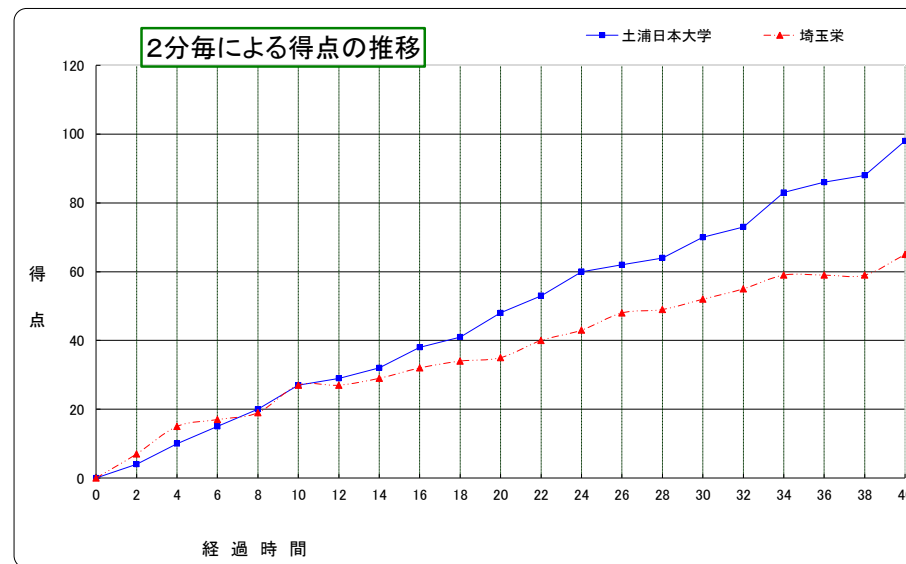
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
春日部ウイングハット
1回戦

チームA			チームB
土浦日本大学 (茨城)	98	{ 25 1st 25 23 2nd 10 22 3rd 17 28 4th 13 }	65
		}	埼玉栄 (埼玉)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	高原 晟也	0													
5	吉田 崇紘	17	0	0	5	9	7	0	3	6	4	1	0	0	2
6	新山 航希	23	0	0	10	19	3	14	1	3	7	7	3	0	2
7	高橋 海	9	1	1	3	4	0	3	3	0	1	0	2	0	2
8	細割 駿佑	2	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1
9	小針 裕弥	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
10	山崎 凜	3	0	2	1	5	1	0	3	1	1	0	0	1	0
11	山本 純也	6	0	2	2	5	2	2	4	1	0	0	2	0	3
12	坂本 大悟	14	1	5	5	16	1	3	0	2	1	4	2	0	2
13	下山 武人	4	0	0	2	4	0	2	1	3	2	0	0	0	1
14	宮澤 亘	6	0	0	3	7	0	0	4	6	3	2	4	0	1
15	吉村 公汰	12	1	2	4	6	1	0	1	1	3	1	0	0	3
16	飯野 椋太	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
17	佐藤 称央	2	0	0	1	3	0	0	1	3	1	1	0	0	1
18	白銀 剛人	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	1	0	0	0
コーチ	佐藤 豊	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1
		98	3	15	37	82	15	26	26	29	27	18	13	1	19
		確率	20.0%		45.1%		57.7%			計 56					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	井上 大晟	2	0	3	1	2	0	0	0	0	2	1	2	0	3
5	甘楽 港大	11	0	2	5	10	1	1	2	2	4	0	0	0	1
6	宮内 誓司	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2	1	1	0	3
7	星 海斗	4	0	0	2	2	0	0	2	0	5	1	6	0	4
8	金子 和馬	3	1	2	0	4	0	0	2	3	2	3	2	0	7
9	宮坂日呂意	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
10	泉谷 太稀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	保坂 尚紀	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
12	遠藤 袖希	7	1	1	1	3	2	4	0	0	4	0	0	0	1
13	田中 志門	22	3	11	2	11	9	15	4	7	5	1	2	0	9
14	ミカサボ ベニ	11	0	0	5	12	1	2	4	6	7	4	1	1	1
15	神崎 敦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	羽柴 伊吹	0	0	0	0	3	0	0	2	2	1	0	1	1	4
17	高橋 涼太	5	0	0	2	3	1	4	3	3	3	1	0	1	0
18	松田 昂斗	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	伊藤 裕一	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		65	5	20	18	54	14	26	23	23	35	12	15	3	36
		確率	25.0%		33.3%		53.8%			計 58					



戦評

第1P、土浦日大はオールコートゾーンプレスからハーフコートのゾーンディフェンス、埼玉栄もオールコートゾーンプレスからマンツーマンディフェンスでゲームがスタートする。序盤から激しく勢いのあるゲームが展開され、土浦日大は#6のジャンプシュートや#14のレイアップで得点を決める。対する埼玉栄も#13の3pや#5のゴール下で得点を重ね、両チーム得点を取り合う展開となる。

第2Pも、両チーム共にゾーンプレスからボール奪取を狙う展開が続く。埼玉栄は#7のドリブル突破からのシュートやゴール下へ合わせて得点を奪い、対する土浦日大も効果的にショートパスを使い、#6のレイアップ、#5のゴール下を確実に決める。途中、埼玉栄はターンオーバーが重なってしまい、その隙を土浦日大は逃さず、#11のバスケットカウントや速攻からのレイアップ、#7の3pでリードを広げる。埼玉栄も#7のドライブインや#13のミドルシュートなどで勝負を仕掛けるが、土浦日大が13点差にリードを広げ、前半を終える。

第3P、前半同様、土浦日大は激しいディフェンスでボールを奪い、テンポの良いオフENSEを展開する。追いかける展開となった埼玉栄はオフENSEリバウンドに果敢に飛び込み、セカンドチャンスからの得点を狙う。しかし、その後は埼玉栄にミスが続いてしまい、それを土浦日大は#6のレイアップ、#5のポストプレイなどで連続して得点を重ね、リードを広げる。

第4P、終盤になってもお互いに激しいディフェンスを継続し、ボールを奪い合う。土浦日大は代わって入った#15が3pを決めれば、埼玉栄も意地を見せ、#13が3pを決める。最後まで諦めない埼玉栄はスティールからの速攻や積極的なドライブからの得点を狙うが、土浦日大の激しいディフェンスに思うようにシュートを決めきれない。終盤になっても土浦日大は激しいゾーンプレスからの速攻で勢いを落とさず、そのままタイムアップ。土浦日大が一回戦突破を決めた。

記入者:竹内 智史

Ref	緒方 崇	1st U	三角 峻	2nd U	
-----	------	-------	------	-------	--